

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7442842号
(P7442842)

(45)発行日 令和6年3月5日(2024.3.5)

(24)登録日 令和6年2月26日(2024.2.26)

(51)国際特許分類	F I				
B 4 3 L	1/00	(2006.01)	B 4 3 L	1/00	Z
B 4 2 F	9/00	(2006.01)	B 4 2 F	9/00	D
			B 4 2 F	9/00	Z

請求項の数 6 (全12頁)

(21)出願番号	特願2021-529058(P2021-529058)	(73)特許権者	519367809
(86)(22)出願日	令和1年11月19日(2019.11.19)		トリホブ、アクチエンゲゼルシャフト
(65)公表番号	特表2022-514193(P2022-514193 A)		T R I H O W A G
(43)公表日	令和4年2月10日(2022.2.10)		スイス国ロートクロイツ、グルントシュ
(86)国際出願番号	PCT/EP2019/081768	(74)代理人	トラーセ、4アー
(87)国際公開番号	WO2020/104443		100091487
(87)国際公開日	令和2年5月28日(2020.5.28)	(74)代理人	弁理士 中村 行孝
審査請求日	令和4年11月15日(2022.11.15)		100120031
(31)優先権主張番号	01445/18	(74)代理人	弁理士 宮嶋 学
(32)優先日	平成30年11月22日(2018.11.22)		100107582
(33)優先権主張国・地域又は機関	スイス(CH)	(74)代理人	弁理士 関根 毅
			100118843
		(74)代理人	弁理士 赤岡 明
			100217940
		(74)代理人	弁理士 三並 大悟

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ワークショップの結果をデジタル化するためのスマートボードおよびセット

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】

紙シート（30）の留め具（29a）を有するベース（29）を備えるクリップボード（28）であって、前記ベース（29）には、少なくとも1つのRFIDトランスポンダ（18）と、RFIDトランスポンダ（18）を有する少なくとも1つの紙シート（30）とが設けられ、前記クリップボード（28）は、前記紙シート（30）が正確にどこに配置されるべきかを示す、前記ベース（29）上のマーキング（30a）を含み、前記ベース（29）および前記紙シート（30）のRFIDトランスポンダ（18）それぞれが、前記紙シートが前記留め具に固定されると、通信のために互いに近接するように配置され、前記ベース（29）が、複数のスイッチ（15）を含み、前記紙シート（30）には、前記紙シート（30）が前記ベース（29）の前記マーキング（30a）に固定されると、前記クリップボード（28）の前記スイッチ（15）の位置にそれぞれ配置された様々な情報、指示および／または選択肢のバリエーション（27a）と、いくつかのマーキングフィールド（15a）と、が提供される、クリップボード（28）。

【請求項2】

実行されたアクションに対するフィードバックを示すことができる少なくとも1つのLED（31）を有することを特徴とする、請求項1に記載のクリップボード（28）。

【請求項3】

前記ベース（29）上の前記スイッチ（15）が、表面の後ろに隠されて配置されていることを特徴とする、請求項1または2に記載のクリップボード（28）。

【請求項 4】

記録されたデータがコンピュータ（10）に送信される、無線インターフェースであってもよいポート（9）を有することを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載のクリップボード（28）。

【請求項 5】

前記紙シート（30）が、予め製造された紙シート（30）の集積体の一部であることを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のクリップボード（28）。

【請求項 6】

各スイッチ（15）が、押しボタンとして実現されていることを特徴とする、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載のクリップボード（28）。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、互いに平行に設計された第 1 および第 2 の表面を含む、ワークショップの結果をデジタル化するためのスマートボードに関する。本発明はまた、そのようなスマートボードを含む異なるセットに関する。

【背景技術】

【0002】

ワークショップで使用される作業面には、ホワイトボード、ピンウォール、黒板、テーブルなどがある。例えば、参加者は、自分のアイデアを紙に書き留め、それらを全員が見ることができるようにホワイトボードまたはピンウォールなどの従来の作業面に張り付ける。続いて、評価が実行され、重複したアイデアが削除され、類似したアイデアがプールされ、重要なアイデアがさらなるアイデアで脚色される。ワークショップの目的に応じて、順序が決定され、および／または優先順位が設定され、最終的にタスクおよび責任が割り当てられる。

【0003】

このようなワークショップは、様々な色および形の粘着性のポスタイト、色付きのドット、磁気ボタン、マーカ、はさみ、ピンなどが完備されたファシリテータのケースを装備したファシリテータによって付き添われていることが多い。作業結果は、せいぜい写真で記録されることができる程度である。しかしながら、完了後、作業結果は、それ以上使用されず、作業面は再び空にされる。

【0004】

一方、様々な追加機能を実行するための電子機器が装備された、本開示ではスマートボードと呼ばれる電子ホワイトボードが知られている。タブレットのように、タッチスクリーン、文字認識機能などを備えたボードが知られている。これらにより、以前に生成されたグラフィックを手書きの注釈によって補足し、修正された形態で記憶することが可能になる。しかしながら、このようなスマートボードは、非常に高価であり、ファシリテータのケースとは対照的に、ファシリテータにより簡単に持参されることはできない。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明の目的は、携帯可能であり、作業結果をデジタル化された形態でコンピュータに送信してコンピュータが作業結果をさらに処理することができる、ワークショップの結果をデジタル化するための冒頭で述べた種類のスマートボードを説明することである。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明は、請求項 1 の特徴によって解決される。本発明によると、複数のポケットが、冒頭で説明したスマートボードの第 1 の表面と第 2 の表面との間に互いに平行に配置され、各ポケットには、アレイ状の複数の N F C 受信機を含む、1 つまたは複数の電氣的に相互接続されたプリント板が配置されている。さらに、各ポケットには、強磁性体または永

10

20

30

40

50

久磁石の形態の複数の磁石がアレイ状に配置され、隣接するポケットのプリント板は、好ましくは蛇行して互いに電子的に接続されている。さらに、第1のプリント板には、電源用およびデータ出力用のポートが設けられている。

【0007】

本発明によるセットは、そのようなスマートボードおよび少なくとも2つ以上の物体を含み、各物体は、永久磁石または強磁性体の形態の少なくとも1つの磁石と、少なくとも1つ、好ましくは2つのRFIDトランスポンダと、を含む。

【0008】

本発明は、様々な図面において以下に例示され、以下でさらに説明される参照符号を用いてより詳細に説明される。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1a】コンピュータに接続された本発明のスマートボードの概略図であり、第1の表面を見た図である。

【図1b】コンピュータに接続された本発明のスマートボードの概略図であり、第2の表面を見た図である。

【図2】そのようなスマートボードの概略内部図である。

【図3a】代替形態におけるスマートボードの内部図の概略部分図である。

【図3b】代替形態におけるスマートボードの内部図の概略部分図である。

【図4】異なる地点での、スマートボードの部分的な領域の概略断面図である。

【図5】巻き上げられたスマートボードの概略断面図である。

【図6】カードの形態の本発明の物体の概略図である。

【図7】内部空間を有する缶の形態の本発明の物体の概略図である。

【図8a】実施形態における本発明の接続要素の概略図である。

【図8b】実施形態における本発明の接続要素の概略図である。

【図9】スマートボード上の本発明のスマートブックの概略図である。

【図10a】本発明のクリップボードの概略図である。

【図10b】本発明の適切な紙シートの概略図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

図1aおよび図1bはそれぞれ、互いに平行に設計された第1の表面2および第2の表面3を含む、ワークショップの結果をデジタル化するための本発明のスマートボード1を示す。

【0011】

このようなスマートボード1は、テーブル上に配置されてもよく、または壁もしくは従来のホワイトボードから吊り下げられてもよく、これは、スマートボード1に設けられたアイレット1aによって達成されてもよい。スマートボード1を用いた作業は、水平または垂直に可能である。

【0012】

図2は、そのようなスマートボード1の内部を示し、図3aおよび図3bは、スマートボード1の個々のセグメントの拡大図を示す。これらの表面2、3の間には、複数のポケット4が互いに平行に配置されており、これらのポケットは、接合部5で互いに接続されている。各ポケット4には、1つまたは複数の電氣的に相互接続されたプリント板6が配置され、プリント板は、アレイ状の複数のNFC受信機7を含む。また、各ポケット4には、強磁性体または永久磁石の形態の複数の磁石8がアレイ状に配置されている。これらの磁石8は、この目的のためにプリント板6に設けられた凹部13内に取り付けられてもよい。永久磁石、特に棒状の磁石が磁石8として選択される場合、これらの磁石が整列することができるように取り付けられると有利である。NFC受信機7および磁石8は、アレイ内でそれぞれ交互に配置されているのが好ましい。図3aおよび図3bに示されるように、ポケット4内のプリント板6は、互いに電子的に接触するように、例えば、電気接

10

20

30

40

50

続部 9 a で互いに差し込まれてもよい。図 4 は、プリント板 6 および磁石 8 の領域における個々のポケット 4 の断面を示す。

【0013】

隣接するポケット 4 のプリント板 6 は、電気接続部 9 a で、図 2 に示されるように好ましくは蛇行して互いに接続されている。第 1 のプリント板 6 a には、電源 10 に接続するためのポート 9、および例えばコンピュータ 10 にデータを送信するためのデータ出力用のポート 9 が設けられている。

【0014】

さらに、1 つまたは複数のスイッチ 15、好ましくは、ユーザによってトリガされ得る圧力スイッチが、ポケット 4 内に配置されていてもよい。好ましい実施形態では、図 3 b に示されるように、各 NFC 受信機 7 には、独自のスイッチ 15 が割り当てられている。スイッチ 15 の構造に応じて、スイッチ 15 を、ユーザがこれを押すことによって、第 1 および／または第 2 の表面 2、3 から任意選択で作動させることができるように設計されてもよく、あるいは図 4 の右側部分に示されるように、2 つのスイッチ 15 が互いに向かい合って配置されていてもよい。各スイッチ 15 は、データ出力用のポート 9 にも接続されている。

【0015】

ポケットは、互いにヒンジ式に接続されているため、スマートボード 1 は、図 5 に示されるように、細長いポケット 4 に平行な軸線 12 を有するロール 11 状に巻かれてもよい。ポケット 4 は、内部にプリント板 6 および磁石 8 が保護的に配置された耐圧ハウジング 14 を備えるのが好ましい。最終的に、スイッチ 15 は、これらのハウジング 14 に取り付けられ、例えばこれらのスイッチ 15 を押すことによって、外部から作動させるようになっている。

【0016】

少なくとも第 1 の表面 2 は、この表面 2 がピンまたは針によって穿孔され得るように、可撓性材料、特にフェルトマット 2 a などの繊維材料から構成されているのが好ましい。したがって、紙片に情報を書き込んでこの紙片をスマートボード 1 にピン止めするのが簡単である。

【0017】

その代わりに、またはそれに加えて、少なくとも第 2 の表面 3 は、耐圧材料、好ましくはプラスチック板 3 a から構成されていてもよい。この第 2 の表面 3 は、スマートボード 1 が完全に巻きほどかれたときに低ギャップになるように設計されているのが好ましい。この第 2 の表面 3 は、拭き取り式マーカーで簡単に書き込まれてもよく、自己粘着性のポストイットが張り付けられてもよい。両方の表面 2、3 を同じように設計することも可能である。

【0018】

このようなスマートボード 1 は、今や作業するのに適している。情報は、スマートボード 1 に様々な仕方で張り付けられてもよい。説明または装備されたスマートボード 1 は、ここで説明されるさらなるモジュール 17、19、21、23、25、28 によってモジュール式に拡張されてもよく、これらのモジュールは、スマートボード 1 と共にセット 16 を形成する。しかしながら、これらのモジュール 17、19、21、23、25、28 のそれぞれは、単独で、または他のそのようなモジュール 17、19、21、23、25、28 と関連して、あるいはここでは言及されていない構成要素と共に使用されてもよい。目的は常に、グループとして、またはプロジェクトで作業している間に、情報を整理、記憶、および転送することである。原則として、コーチは、そのようなグループ作業を先導し、付き添って、参加者にスマートボード 1 およびモジュール 17、21、23、25、28 を用いた作業方法を説明する。

【0019】

したがって、情報は、例えば、スマートボード 1 の磁石 8 に付着する磁氣的に張り付けられたモジュール 17、19、21、23、25 に書き込まれてもよい。情報はまた、互

10

20

30

40

50

いに重ねて配置され、グループにまとめられ、または論理的な順序に整理されてもよい。追加情報も、スマートボード 1 に直接張り付けられてもよい。

【0020】

本発明のセット 16 は、例えば、スマートボード 1 と、図 6 または図 7 に示されるような、モジュールを表す 2 つ以上の物体 17 と、を含む。原則として、複数のそのような物体 17 が使用される。これらの物体 17 のそれぞれは、永久磁石または強磁性体の形態の少なくとも 1 つの磁石 8 と、少なくとも 1 つ、好ましくは 2 つの R F I D トランスポンダ 18 と、を含む。任意選択で、物体 17 は、スイッチ 15、特に圧力スイッチも含むことができる。

【0021】

図 6 による第 1 の好ましい実施形態では、これらの物体 17 のうちの 1 つまたは複数がカード 19 として実現されてもよい。カード 19 は、例えば、クレジットカードまたは名刺のサイズおよび形状を有する。好ましい実施形態では、これらカードは、例えばノッチの形態のコーディング 20 を含む。このようなコーディング 20 は、あるグループに属して、すべてが同じコーディング 20 を含むカード 19 を他のカード 19 から分離するのに役立つことができる。このために、カード 19 は、それぞれのグループのノッチ 20 に対応する溝を底部に備えた、この目的のために設けられたボックス内に配置される。このグループに属さず、したがって異なるコーディング 20 を有するカード 19 は、溝の少なくとも 1 つに当接し、その結果、これらの地点にノッチ 20 を備える他のカード 19 と比較して目立つ。これにより、これらのカードを簡単に仕分けすることができる。

【0022】

側面の追加のカラーコーディングは、後続の各カード 19 のカラーコーディングが前のカードのカラーコーディングからわずかにずれている場合、例えば、カード 19 の順序をマーキングすることができる。これにより、順序を制御することが非常に簡単になる。

【0023】

カード 19 としての設計に代わるものとして、物体 17 は、図 7 に示されるような、ハウジング 24 および内部空間 24 を有する缶 23 として設計されてもよい。缶 23 は、カード 19 よりも握りやすい。各缶 23 の内部空間 24 は、1 つまたは複数の R F I D トランスポンダ 18 および磁石 8 を収容することができ、加えてスイッチ 15 が缶 23 に取り付けられてもよい。磁石 8 は、永久磁石として実現され、自由に整列することができるように内部空間 24 に取り付けられているのが好ましい。いくつかの磁石 8 を設けることも可能である。さらなる適切な電子部品がプリント板 6 上に配置されてもよい。缶 23 は、例えば、スイッチ 15 の作動後にフィードバックを与える L E D 31 を有してもよい。このための給電は、スマートボード 1 から R F I D トランスポンダ 18 を介して実行されてもよい。缶 23 は、内部空間 24 に配置された構成要素を外力の衝撃および汚染から保護する。

【0024】

そのような物体 17 またはカード 19 は、既にかき込まれていてもよく、または作業中に書き込まれてもよい。磁石 8のおかげで、それらの物体またはカードは、スマートボード 1 に付着する。それらの R F I D トランスポンダ 18 は、N F C 受信機 7 に対応している。これにより、スマートボード 1 に取り付けられたコンピュータ 10 に、カード 19 の I D 番号と、カード 19 が付着したスマートボード 1 上の位置と、を送信することができる。カード 19 には、コンピュータ 10 によってアクセスされ得るデータベースに記憶されたさらなるプロパティが割り当てられてもよい。加えて、カード 19 がスマートボード 1 に取り付けられる前に、例えばスマートボード 1 のスイッチ 15 を作動させた場合は、さらなるアクションが開始されてもよい。視覚的な情報または他の情報が取り出されてもよく、あるいはそれぞれのカード 19 の I D 番号に割り当てが行われてもよい。例えば、「スマートボード 1 に割り当てられたカメラによって撮影された次の写真が、スイッチ 15 に取り付けられたそのカード 19 の I D 番号にデータベース内でリンクされる」などの割り当てが作成されてもよい。したがって、例えば、プロジェクトマネージャとして任命

10

20

30

40

50

されることになる人物の写真、または現実化することになる建築モデルの写真がカード 19 に割り当てられてもよい。スイッチ 15 を再び作動させると、対応する写真がディスプレイに表示されてもよい。いくつかのカード 19 が上下に配置される場合、それらすべてのカード 19 の対応する写真が表示される。これらは、ほんの一例である。管理システムは、スマートボード 1 および異なる物体 17、19、21、23、25、28 を用いて作業するための様々な命令を実行する複数のプレゼンテーションプログラムを含んでもよい。これに対応して、管理システムは、異なるグループのカード 19 の 1 つまたは複数のボックスを含んでもよく、個々のカード 19 の ID 番号は、データベースに既に記録されており、特定の情報と相関付けられている。

【0025】

本発明のさらなるセット 16 もまた、上述されたような、スマートボード 1 および物体 17 を含む。加えて、本セットは、図 8 a および図 8 b に示される 1 つまたは複数の接続要素 21 を含む。接続要素 21 は、接続リボン 22 によって互いに接続された 2 つの物体 17 を含む。接続リボン 22 は、物体 17 の視覚的および構造的な接続を表しているに過ぎず、弾性であってもよい。物体 17 は、カード 19 または、図 8 a に示されるような缶 23 として実現されてもよい。物体 17 の磁石 8 と共に、接続リボン 22 の 2 つの端点がスマートボード 1 上に配置されると、これらの端点の 2 つの場所を互いにリンクする割り当てが作成されてもよい。これは、時系列、階層、一体性などを意味することができる。缶 23 は、図 7 で説明されたように実現されてもよい。特に、缶 23 は、内部空間 24 を有するハウジング 14 を含むことができる。

【0026】

図 8 b に示されるような、接続要素 21 の好ましい実施形態では、1 つまたは 2 つのさらなるそのような物体 17 が接続リボン 22 に移動可能に取り付けられている。1 つの物体 17 のみを取り付けられている場合は、これは、パーセント値として理解されてもよく、すなわち、接続リボン 22 の端部間の中央に可動物体 17 を配置することは 50 % を意味し、一方の端部へ半分だけ移動させることは、所定の開始位置に応じて、25 % または 75 % をそれぞれ意味する。スケーリングは、ランダムに細かい値に分解されることができず、配置は、RFID トランスポンダ 18 の配置に基づいて、NFC 受信機 7 によって検出される。

【0027】

図 8 b に示されるように、2 つの物体 17 が接続リボン 22 に移動可能に配置されている場合、これは、例えば、接続リボン 22 の両端にある物体 17 によってそれぞれ定義される最小と最大との間の領域として解釈されてもよい。スマートボード 1 上の位置の検出は、可動である物体 17 の場合と同じように行われる。接続要素 21 は、任意選択で、スマートボード 1 上に直接、またはそのような物体がスマートボード 1 上に既に配置されている場合はカード 17 上に配置されてもよい。

【0028】

接続要素 21 の物体 17 は、任意選択で、図 6 で説明されたようなカード 19 として、または図 7 で説明されたような内部空間 24 を有する缶 23 として実現されてもよい。

【0029】

さらなる好ましい実施形態では、セット 16 またはスマートボード 1 は、図 9 に示されるように、スマートブック 25 の形態の物体 17 を含む。前提条件は、スマートボード 1 の各 NFC 受信機 7 には、独自のスイッチ 15 が割り当てられていることである。スマートブック 25 は、プレート 26 を含み、その長さは、スマートボード 1 のスイッチ 15 の 2 つ以上のアレイ距離にわたって延在しており、および／またはその幅は、2 つ以上のポケット 4 にわたって延在している。プレート 26 は、アレイ状もしくはグリッド状に配置された強磁性体または永久磁石の形態のいくつかの磁石 8 と、図 6 のカード 19 と同様の少なくとも 2 つの RFID トランスポンダ 18 と、を備える。加えて、複数ページのノートブック 27 がプレート 26 に取り付けられており、そのページには指示および選択肢のバリエーション 27 a が提供されている。これらのバリエーション 27 a のそれぞれには

10

20

30

40

50

、スマートボード1のスイッチ15が割り当てられてもよく、このスイッチ15は、使用時にスマートブック25がスマートボード1に付着している場合は、スマートブック25の周囲に直接配置される。これらのスイッチ15を作動させると、追加情報が取り出され、その情報は、指示を含んでもよい。加えて、ページが完了したときに作動するスイッチ15が定義されてもよい。次いでページがめくられ、さらなる追加情報が取り出された後、次のページの指示に従う。

このようなスマートブック25は、異なるワークショップまたはプロジェクトのために製造されてもよく、プロセス、例えば決定プロセスを通して、ユーザをガイドすることができる。異なる態様（価格、品質、需要、リスクなど）がページ上にそれぞれ照明されてもよく、選択のためにユーザに利用可能なバリエーションがスマートボード1の周囲のスイッチ15に割り当てられてもよい。スマートボード1は、スマートボード1のNFC受信機に対応する2つのRFIDトランスポンダを用いて、スマートブック25の位置を認識する。ここでも、スイッチ15を作動させることによってユーザによってスマートボード上で入力されたすべての情報がコンピュータに送られ、そこでさらに処理される。

【0030】

さらに、図10aに示されるようなクリップボード28が、スマートボード1または言及されたセット16と共に追加モジュールとして使用されてもよい。クリップボード28は、図10bに示されるような紙シート30用の留め具29aを有するベース29から構成され、少なくとも1つ、好ましくは2つのRFIDトランスポンダ18が設けられている。紙シート30自体も、1つまたは2つのRFIDトランスポンダ18を含み、ベース29および紙シート30の少なくとも1つのRFIDトランスポンダ18それぞれは、紙シート30が留め具29aに固定されると、通信のために互いに近接して配置される。ベース29は、紙シート30が正確にどこに配置されるべきかを示すマーキング30aを含むのが好ましい。ベース29はまた、好ましくはマトリクス状に配置された複数のスイッチ15を含むことができる。これらのスイッチ15は、表面の後ろに隠されて、マーキングまたは配置されてもよい。スマートブック25と同様に、紙シート30は、予め製造された紙シート30の集積体の一部であってもよい。シート30がベース29のマーキング30aに固定されると、これらのシート30のそれぞれには、様々な情報、指示、および選択肢のバリエーション27aと、クリップボード28のスイッチ15の位置にそれぞれ配置された、いくつかのマーキングフィールド15aと、が提供される。ユーザは、状況に応じて、例えば、対応するスイッチ15を押すことによって、それらをそれぞれ作動させる。図10bにおいて、ユーザが選択的に作動させることができるマーキングフィールド15aは、文字A、B、およびCの下に配置された円によってマーキングされている。さらなるマーキングフィールド15aは、下の表の十字の位置にある。適用可能なものに
に応じて、ユーザは、マーキングフィールド15aを押すことによって、クリップボード28上の対応するスイッチ15を作動させる。

【0031】

クリップボード28は、記録されたデータをコンピュータ10に送信する無線インターフェースであってもよいポート9をさらに含む。

【0032】

クリップボード28はまた、実行されたアクションに対するフィードバックを与えるために、または情報を受信するために、1つまたは複数のLED31を含むことができる。例えば、点灯されたLED31は、特定の主題に関する情報が画面に表示されていることを示すことができる。

【0033】

スマートボード1および物体17を含むセット16であって、物体が、カード19、缶23、接続要素21、またはクリップボード28であるセット16は、図ではそのように示されていない。物体19、21、23、および28は、スマートボード1なしで、単に単独で示されている。スマートボード1およびスマートブック25を含むセット16のみが図9に示されている。本発明に従ってここに記載されたすべての物体17、19、21

10

20

30

40

50

、 2 3、 2 5、 および 2 8 はまた、 単独で、 または他の物体 1 7、 1 9、 2 1、 2 3、 2 5、 および 2 8 と組み合わせて使用されてもよい。

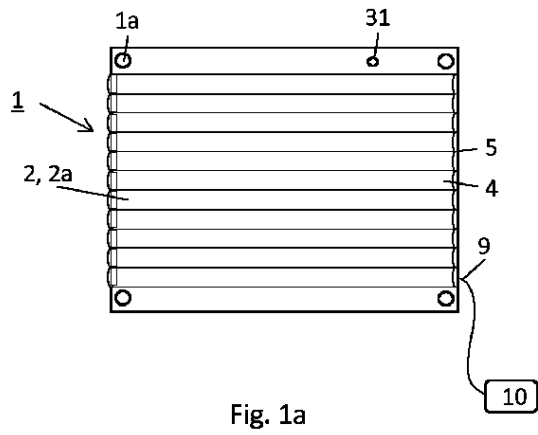
【符号の説明】

【 0 0 3 4 】

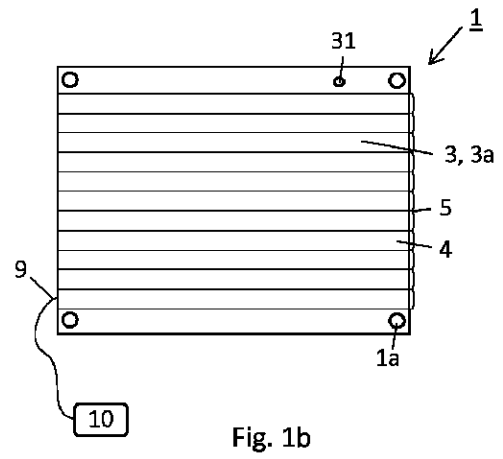
1	スマートボード	
1 a	アイレット	
2	第 1 の表面	
2 a	フェルトマット	
3	第 2 の表面	
3 a	プラスチック板	10
4	ポケット	
5	接合部	
6	プリント板	
6 a	第 1 のプリント板	
7	N F C 受信機	
8	磁石、強磁性または永久磁石	
9	ポート	
9 a	電気接続部	
1 0	電源、コンピュータ	
1 1	ロール	20
1 2	軸線	
1 3	凹部	
1 4	ハウジング	
1 4 a	ハウジング部	
1 5	スイッチ、圧力スイッチ	
1 5 a	スイッチのマーキングフィールド	
1 6	セット	
1 7	物体	
1 8	R F I D トランスポンダ	
1 9	カード	30
2 0	コーディング、ノッチ	
2 1	接続要素	
2 2	接続リボン	
2 3	缶	
2 4	内部空間	
2 5	スマートブック	
2 6	プレート	
2 7	ノートブック	
2 7 a	情報、指示、選択肢のバリエーション	
2 8	クリップボード	40
2 9	ベース	
2 9 a	留め具	
3 0	紙シート	
3 0 a	紙シートのマーキング	
3 1	L E D	

【図面】

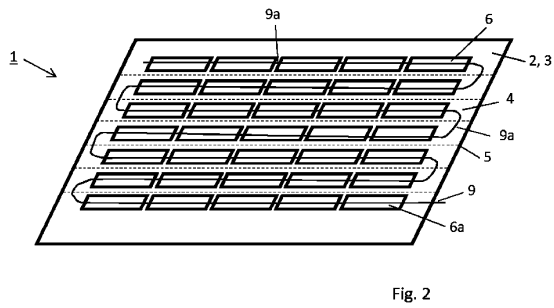
【図 1 a】



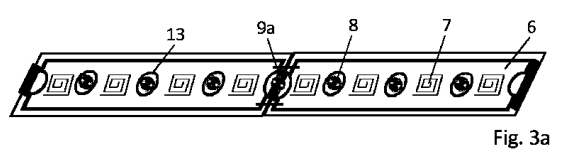
【図 1 b】



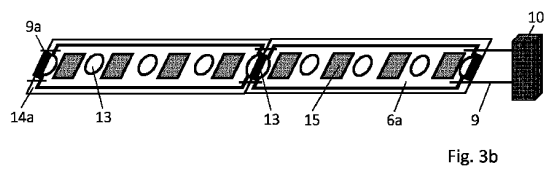
【図 2】



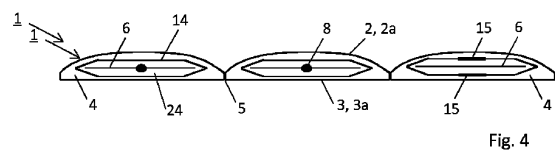
【図 3 a】



【図 3 b】



【図 4】



10

20

30

40

50

【図 5】

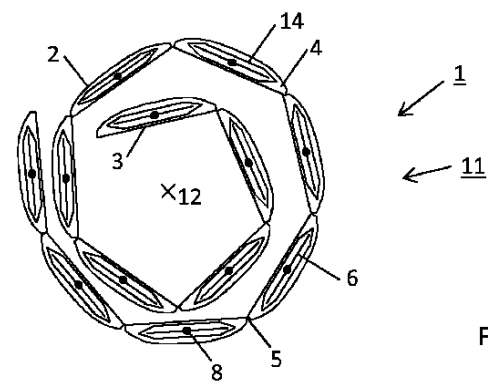


Fig. 5

【図 6】

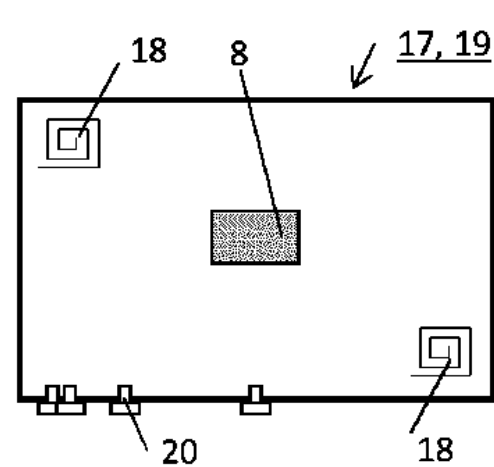


Fig. 6

【図 7】

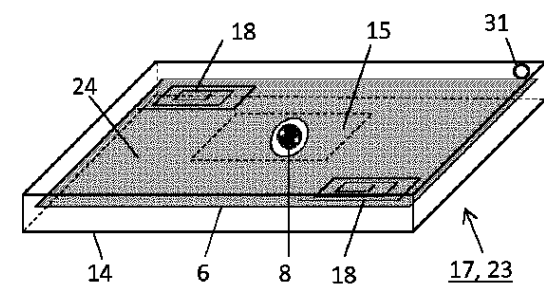


Fig. 7

【図 8 a】

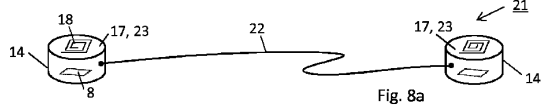


Fig. 8a

10

20

30

40

50

【図 8 b】

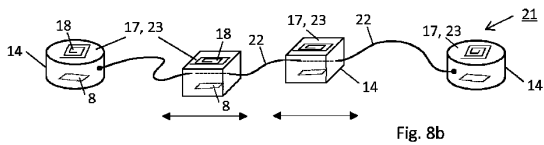


Fig. 8b

【図 9】

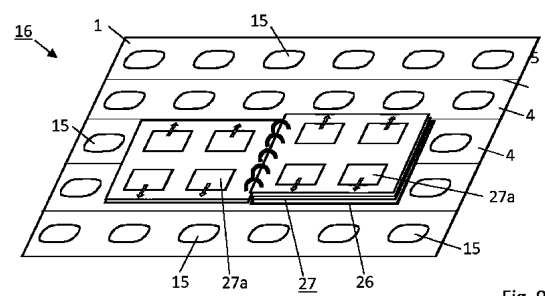


Fig. 9

10

【図 10 a】

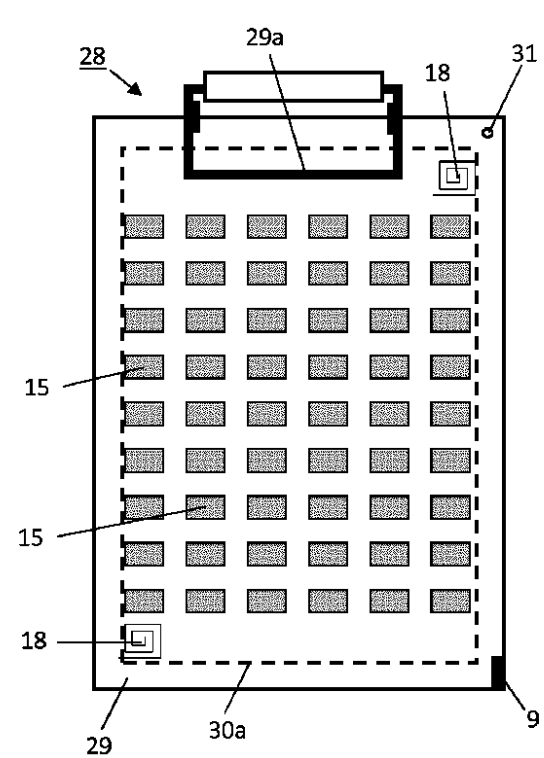


Fig. 10a

【図 10 b】

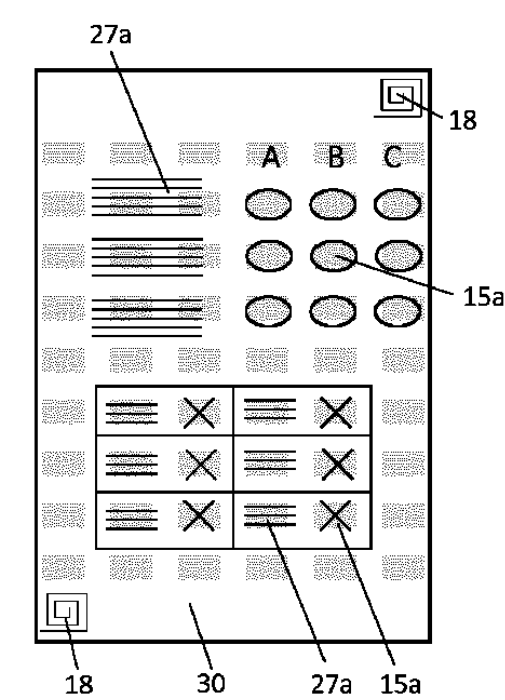


Fig. 10b

20

30

40

50

フロントページの続き

- (72)発明者 ベアト、クヌーセル
 スイス国インメンセ、スンネホフライン、2
 審査官 飯野 修司
- (56)参考文献 特開2002-120475 (JP, A)
 国際公開第2017/017800 (WO, A1)
 米国特許出願公開第2007/0176780 (US, A1)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)
 B 4 3 L 1 / 0 0
 B 4 2 F 9 / 0 0